

パブリックコメント用（H28.1.26 現在）

江田島市地域公共交通網形成計画（素案）【概要版】

1 目的

江田島市の将来像である「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、本市の公共交通の将来像を見据えつつ、公共交通の役割を明確にし、地域の維持・発展に貢献する持続可能な地域公共交通網を形成するため、地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき、「江田島市地域公共交通網形成計画」を策定する。

2 概要

(1) 計画の構成

章	項目	主な内容
第1章	はじめに	公共交通に対する満足度向上の意義等
第2章	地域の現状	地域特性、人口の現状・将来展望等
第3章	江田島市が目指すまちづくりの方向性	総合計画、総合戦略等におけるまちづくりの方向性の概要
第4章	江田島市の公共交通をとりまく現状と課題	公共交通の現状、前計画のふりかえり、公共交通の課題等
第5章	江田島市に必要な地域公共交通網の形成	形成する公共交通網の概要、計画の区域、期間、基本方針等
第6章	計画の目標と具体的な事業内容	施策体系図、具体的事業、実施スケジュール等
第7章	事業の検討・決定及び進捗管理	評価・検証の仕組み等

(2) 計画の区域 江田島市全域

(3) 計画の期間 平成 28 年度から 5 カ年間

(4) 計画の評価

地域公共交通網を維持し、より使いやすく改善していく仕組みとして、計画の目標に対して評価指標を設定し、個別の事業の取り組みについて、関係者が情報を共有しつつ定期的に評価・検証を行う。

評価指標	
○航路利用者の前年比減少率（％）	○情報提供資機材の整備件数（件）
○路線バスの年間利用者数（万人）	○年間総観光客数（万人）
○おれんじ号運行見直し基準（稼働率）の目標を達成した系統の割合（％）	○意見交換会の開催回数（回）
○乗継改善策の実施件数（件）	○地域が主体となった取組の件数（件）
○負担感軽減策の実施件数（件）	○市民アンケート調査における満足度のポイント
○バリアフリー車両の導入率（％）	

（５）基本方針

■ 総論

**協働と交流をベースに地域の「まとまり」と「つながり」を守る
公共交通ネットワークをつくります**

- 地域に暮らす人々の生活確保，その満足度を高めるために必要なサービス水準を担保する地域公共交通網を形成するため，江田島市及び周辺隣市に運行（運航）している公共交通について，必要な改善を行う。
- 公共交通ネットワークの推進及び管理については，市がリーダーシップを発揮しつつ，江田島市公共交通協議会のガバナンスのもとで，事業者，住民などの多様な主体が協働で取り組みを進める。
- このことにより，地域の「まとまり」と「つながり」を守る公共交通ネットワークをつくり，より生活しやすい市民の満足度の高いまちづくりへの貢献を図る。

■ 地域公共交通網の形成に当たっての方向性

○ 各交通手段の役割分担の方向性

分類	位置づけ	対象交通手段	将来の方向性
都市間幹線	周辺都市との連絡	航路	・周辺都市との交流・連携を強化するため，サービス水準の維持・確保に努める ・地域間幹線や支線との円滑な乗継に可能な限り配慮する
地域間幹線	市内拠点間の連絡	路線バス	・市内における拠点間の連携を強化するため，サービス水準の維持・確保に努める ・都市間幹線や支線との円滑な乗継に可能な限り配慮する
支線	集落から各拠点や交通結節点との連絡	路線バス おれんじ号	・各エリア内における市民の生活を支えるため，サービス水準の維持・確保に努める ・都市間幹線や支線との円滑な乗継に可能な限り配慮する ・持続性，柔軟性を中心にサービスを考える

① 定められた役割・サービス水準の担保

- ・市民の通勤，通学，通院，買物などの移動を担保できる公共交通網を形成する
- ・通学に係る路線系統は，原則確保する
- ・来訪者を取り込むことのできるサービスの提供を図る

② 持続可能な地域公共交通網の形成

- ・交通資源を可能な限り活用し，効果的・効率的な運行，運営を行う
- ・維持にかかるコストを適切に管理し，利便性の高い地域公共交通網を形成する

③ まちづくりに貢献する各種計画と整合性のとれた地域公共交通網

- ・第２次江田島市総合計画などに示されるまちづくりの方向性と整合を図る

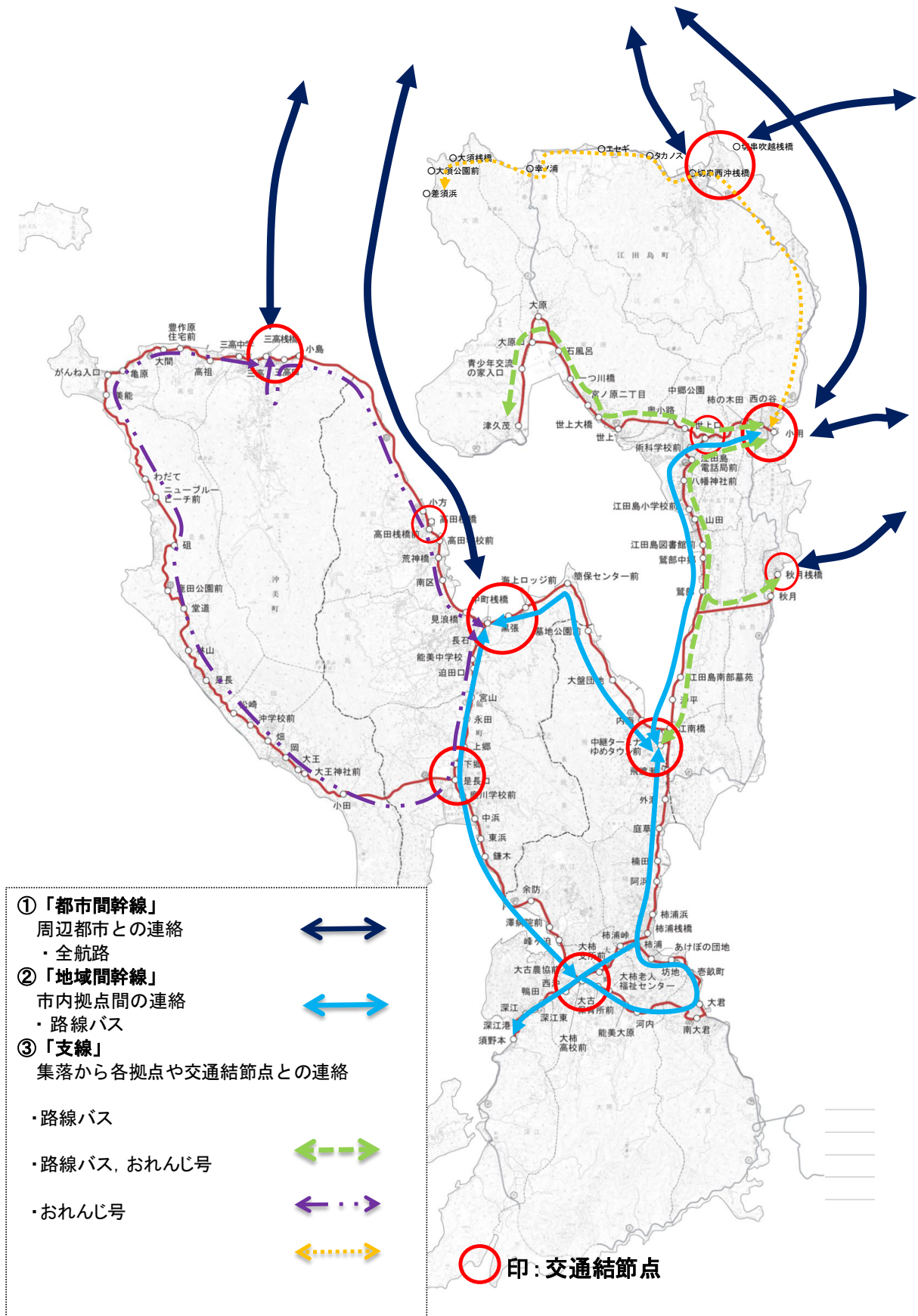
④ 利用者が使いやすく親しみのある利用環境の整備

- ・利用者にとって分かりやすい地域公共交通網となるよう改善を図る
- ・外国人利用者にも配慮する

⑤ 公共交通を守り・育てる意識の醸成

- ・公共交通を自らが守り育てるという共通認識の形成を図る

江田島市地域公共交通網形成計画(素案)における
各交通手段の役割分担の方向性【イメージ図】



（6）計画の目標と事業内容

施策の体系図と事業の実施スケジュール

計画の目標		事業	実施主体	実施スケジュール				
				28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
まちづくりと連携した効果的・効率的な公共交通体系の構築	目標1 海上交通と陸上交通の連携強化と路線バス（幹線・支線）・おれんじ号の役割分担を明確にした系統やダイヤの見直し	① 海上交通と陸上交通の連携強化	利用者等 交通事業者 江田島市	検討・実施・適宜見直し				
		② 路線バス（幹線・支線）系統やダイヤの見直し		検討・準備	実施・適宜見直し			
		③ おれんじ号の利便性向上		検討・実施・適宜見直し				
	目標2 交通結節点における機能の向上	① 乗換環境の充実	交通事業者 商業施設等 江田島市	検討・実施・適宜見直し				
公共交通の安心感と利便性を高める利用環境の整備	目標3 利用環境の改善による利便性等の向上	① 運賃負担感の軽減策の検討	交通事業者 江田島市	継続実施・適宜見直し				
		② ICカードの導入		検討	準備	導入・稼働		
		③ バリアフリー化の推進		検討・実施・適宜見直し				
		④ わかりやすい公共交通情報の提供		検討・実施・適宜見直し				
	目標4 観光の強化による利用者の増加	① 公共交通を活用した観光ルートの開発	交通事業者 観光協会等 江田島市	検討・実施・適宜見直し				
② 観光客に向けた情報発信力の強化	検討・実施・適宜見直し							
地域との協働による公共交通の確保・維持・改善	目標5 地域で公共交通を支えるための意識の醸成	① 公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催	利用者等 交通事業者 江田島市	検討・実施・適宜見直し				

具体的な事業内容

① まちづくりと連携した効果的・効率的な公共交通体系の構築

目標 1 海上交通と陸上交通の連携強化と路線バス（幹線・支線）・おれんじ号の役割分担を明確にした系統やダイヤの見直し

事業① 海上交通と陸上交通の連携強化
<p>■ 事業の概要</p> <p>海上交通事業者と陸上交通事業者の連携により、航路、路線バス、おれんじ号の相互間のスムーズな乗り継ぎの実現のため調整を図ります。また、利用促進に関する共同イベントなどの開催を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江田島市公共交通協議会での協議，連携強化 ・ダイヤ改正時における相互調整や乗継案内の実施など ・公共交通の利用促進イベント等の共同実施
■ 事業主体：交通事業者，江田島市
■ 実施時期：平成 28 年度から
事業② 路線バス（幹線・支線）系統やダイヤの見直し
<p>■ 事業の概要</p> <p>幹線と支線の役割分担を明確にし、航路やおれんじ号とのスムーズな乗り継ぎ、通勤、通学、通院、買物などの移動のニーズに応じた効果的・効率的なダイヤへの見直しを図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的・効率的な系統やダイヤへの見直し
■ 事業主体：利用者，交通事業者，江田島市
■ 実施時期：平成 28 年度から
事業③ おれんじ号の利便性向上
<p>■ 事業の概要</p> <p>おれんじ号をより利用しやすくするため利用手続きなどの改善を検討します。</p> <p>航路や路線バスとのスムーズな乗り継ぎ、通院や買物などの移動のニーズに応じた効果的・効率的なダイヤへの見直しを図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果的・効率的な系統やダイヤへの見直し ・利用者にとって利便性の高い乗降場所の検討
■ 事業主体：利用者，交通事業者，江田島市
■ 実施時期：平成 28 年度から

評価指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
航路利用者の前年比減少率 (%)		
路線バスの年間利用者数 (万人)		
おれんじ号運行見直し基準 (稼働率) の目標を達成した系統の割合 (%)		

目標2 交通結節点における機能の向上

事業① 乗換環境の充実

■ 事業の概要

交通結節点における乗換環境の充実を図るため、利用者への乗継情報の提供や商業施設などと連携した取り組みを検討します。

- ・船舶、車両などにおける乗継情報の提供
- ・運行状況に関する事業者間の相互連絡体制の構築（運休、大幅な遅れ時など）
- ・バス中継ターミナルの動線の改善、上屋等の設置 ・情報提供設備の整備 など

■ 事業主体：交通事業者，商業施設等，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

評価指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
乗継改善策の実施件数（件）		

② 公共交通の安心感と利便性を高める利用環境の整備

目標3 利用環境の改善による利便性等の向上

事業① 運賃負担感の軽減策の検討

■ 事業の概要

上限運賃制度や航路，路線バス，おれんじ号の相互利用における乗継割引制度など，運賃負担感の軽減策について検討します。

- ・路線バスにおける上限運賃制度
- ・航路，路線バス，おれんじ号の相互間利用における乗継割引制度
- ・商業施設等との連携した乗車券サービス制度 など

■ 事業主体：交通事業者，商業施設等，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

事業② ICカードの導入

■ 事業の概要

利用者の利便性向上を図るため，IC カードシステムの導入を促進します。

■ 事業主体：交通事業者，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

事業③ バリアフリー化の推進

■ 事業の概要

船舶や車両，交通結節点などのバリアフリー化を推進します。

- ・低床車両の導入 など

■ 事業主体：交通事業者，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

パブリックコメント用（H28.1.26 現在）

事業④ わかりやすい公共交通情報の提供

■ 事業の概要

バスロケーション・システムの導入や公共交通情報マップ，スマートフォンへの情報提供，バス停の名称など，わかりやすい公共交通情報の提供に努めます。

- ・バス停や待合所での情報提供内容等の充実
- ・携帯端末への情報の提供
- ・わかりにくいバス停の名称変更
- ・公共交通マップの作成 など

■ 事業主体：交通事業者，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

評価指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
負担感軽減策の実施件数 (件)		
バリアフリー車両の導入率 (%)		
情報提供資機材の整備件数 (件)		

目標 4 観光の強化による利用者の増加

事業① 公共交通を活用した観光ルート開発

■ 事業の概要

航路と路線バスを活用した観光ルートの開発に取り組みます。

■ 事業主体：交通事業者，観光協会等，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

事業② 観光客に向けた情報発信力の強化

■ 事業の概要

外国人観光客も含めた，観光客全般に向けた公共交通や観光に関する情報発信力の強化を図ります。

- ・インターネットを活用した情報発信力の強化
- ・観光情報等の多言語化
- ・ラッピング車両等の導入

■ 事業主体：交通事業者，観光協会等，江田島市

■ 実施時期：平成 28 年度から

評価指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
年間総観光客数 (万人)		

③ 地域との協働による公共交通の確保・維持・改善

目標5 地域で公共交通を支えるための意識の醸成

事業① 公共交通の利用促進と地域との意見交換会の開催
<p>■ 事業の概要</p> <p>自らが守り・育てる意識の醸成を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の現状や課題に関する情報提供 ・各種行事や広報などを活用した公共交通の利用促進 ・地域で公共交通を支えていくための仕組みづくりの検討 ・利用者と交通事業者，行政などの関係者による意見交換会の開催 ・公共交通の利用促進イベント等の共同実施（再掲）
<p>■ 事業主体：住民，交通事業者，江田島市</p>
<p>■ 実施時期：平成 28 年度から</p>

評価指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
意見交換会の開催回数（回）		
地域が主体となった取組の件数（件）		

（7）事業の検討・決定および進捗管理

- 本計画に記載した事業は，目標を達成するための検討対象事業と位置付ける。
- 各事業の関係事業者及び関係者は，本計画の策定の趣旨を鑑みて，事業の実施可否及び具体策の策定を行う。
- 江田島市公共交通協議会において，継続的に「PDCA サイクル」（事業計画の検討・立案（Plan）→事業の検討・実施（Do）→その過程や実施結果の評価や新しい課題，問題点を整理（Check）→評価を踏まえ事業の改善・見直し（Action））による評価・検証を行う。
- 本計画の取り組みの総合的な評価指標は，市民満足度アンケート調査における「海上交通の確保」及び「バスなどの確保」とともに，60 ポイント以上を目標とする。

評価指標	現状値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
市民アンケート調査における満足度のポイント ・海上交通の確保 ・バスなどの確保		